

蓮心館剣道

現在、市内で唯一となった剣道のスポーツ少年団である蓮心館の練習は、礼と、黙想による精神統一からスタート。礼儀とメリハリ、剣道の基本を大切にすることで、団員たちが一生、剣道を続けていけるような土台ができるように指導しています。

練習には、小学生から成人までが参加。年代を超えて一緒に練習できることや、レクリエーションで餅つきやボウリング大会、6年生を送る会などを行い、団員同士の交流を深めていることも同団の特徴の一つです。

同団では、随時、団員を募集しています。興味のある方は体験入団に参加してみてください！

●練習日時 水・金曜日16:00～18:00

●練習場所 ひかり幼稚園ホール

礼儀と感謝の心が身につきます
体験入団に来てみてね！



団員からひと言 団員 やしまれん 八島蓮さん(左) かじかわたくむ 梶川拓夢さん(右)



あいさつが上手にできず、親から礼儀を覚えるようにと習い始めました。剣道は相手との駆け引きが多いスポーツです。相手が動き出した所を狙って打ち込んだりフェイントを掛けたあとで技を出したり、タイミングが大切。小さな大会での入賞はありましたが、大きい大会では悔しい思いが残りました。次は県大会で入賞できるよう頑張りたいです。

団員の仲も良く、剣道だけではなく、ボウリングや餅つきなどのレクリエーションもみんなで楽しく行っています。

監督からひと言 師範 とうまてつお 藤間哲雄さん



私たちの道場は、小学生から一般の人まで一緒に稽古しています。剣道は日本の伝統文化の一つで、生涯現役でいられるスポーツであるため、練習では特に基本を中心に指導しています。また、剣道は、相手がいないとできないので、常に感謝を忘れないようにということと、「練習の時は練習、遊ぶ時は遊ぶ」というメリハリをしっかりつけるように指導しています。子どもたちには、剣道を通して、相手を思いやることのできる人に育ってほしいですね。

異種目で交流！ 第25回白石市スポーツ少年団交流大会



1_スポーツ少年団対抗種目の大縄跳び。制限時間内に跳んだ最高連続回数で勝負。息を合わせてジャンプ！
2_もう1つの対抗種目、ぞうきん掛けリレー。他のチームに負けじと、懸命に走りました 3_交流種目の玉入れの出場者は、他のスポーツ少年団員と協力して、カゴ目掛けて夢中で玉を放り投げていました

2月14日、「第25回白石市少年スポーツ少年団交流大会」をホワイトキューブで開催しました。この大会は、各種レクリエーションを通してスポーツ少年団間の交流を深め、青少年の健全育成のため毎年開催しています。この日は市内スポーツ少年団11チー

ム(8種目)約300人が参加。ドッチビーや玉入れの交流種目と、大縄跳び、ぞうきん掛けリレーの対抗種目を通して交流を深めていました。

参加者は「なかなか他の団の人と交流できることがないのでとても楽しかったです」と話してくれました。